



櫻木神社の拝殿と本殿―吉野町喜佐谷で



櫻木神社 (吉野町)



宮滝の集落から吉野川を渡り南へ進むと、象の

疱瘡よけ 霊験あらたか

小川のほとりに櫻木神社が鎮座しています。万葉集にも詠まれたせせらぎを耳にしながら屋根のある木末橋を渡ると、鮮やかな朱塗りの鳥居が見えてきます。

創建は飛鳥時代の大化(645〜650)年代を渡り南へ進むと、象の三柱です。皇位を巡り、天智天皇の弟・大海人皇子(後の天武天皇)と天智天皇の間に隠れて窮地を脱し、元を隠れて窮地を脱したと伝わり、また櫻木神社への道沿いに「虎に翼を着けて放てり」と刻まれた石碑が建っています。これは、病床の天智天皇に即位を勧められた大海人皇子がこれを固辞、出家して、大津の都を離れ吉野に向かった際に都の人々がささやいたという日本書紀の一文です。

ご祭神は、国造りや医者の神である大己貴命と少彦名命、天武天皇の三柱です。皇位を巡り、天智天皇の弟・大海人皇子(後の天武天皇)と天智天皇の間に隠れて窮地を脱し、元を隠れて窮地を脱したと伝わり、また櫻木神社への道沿いに「虎に翼を着けて放てり」と刻まれた石碑が建っています。これは、病床の天智天皇に即位を勧められた大海人皇子がこれを固辞、出家して、大津の都を離れ吉野に向かった際に都の人々がささやいたという日本書紀の一文です。

大友皇子の追っ手に追われた大海人皇子は、櫻木神社にあった桜の根を離れ吉野に向かった際に都の人々がささやいたという日本書紀の一文です。

- (住所) 吉野町喜佐谷423
- (祭神) 大己貴命、少彦名命
- (交通) 近鉄大和上市駅からバス約15分、「宮滝」下車約15分
- (電話) なし
- (拝観) 境内自由
- (駐車場) 有(無料)

(奈良まほろばソムリエの会員 山崎愛子)